



自由な発想で

思い切った提言を

南国市青年市民会議が発足

開かれました。

これは、青年に人との触れ合いや心の通い合いを通してその資質を伸ばしてもらい、あわせて市政の現状を理解し、自由な発想のな

南国市青年市民会議が設立され、四月十一日に第一回会議が

かから思い切った提言をしてもらおうと、市制施行三十周年記

長い目で見た

南国市のために

市長 小笠原喜郎



われわれは議会を通して市の現状を聞き、市民の要望に応える努力をしているが、その議会

の要望以外にどのような点に皆さんが関心を持っており、どのような要望があるのかを聞かせていただき、少しでも皆さんの希望に添ったよりよい南国市に近付けていくことに私の使命があると考えている。
これから皆さん方は長い将来があるから、自分の職場、思想、教養などから、長い目で見て南国市のためにはこういうことがあってほしいという純粋な意見を期待している。

念事業実行委員会などで検討を重ね、設立を進めていたものです。

メンバーは、地域や職場で中



心となって活躍している二十五歳から三十九歳までの青年二十七人。近い将来、地域づくりの核としての活躍が期待されるさまざまな生活領域や職業領域の方々です。

十一日の会では、青年市民会議の設置要綱や運営方法などを決定。また、会長に末政隆一さん、副会長に神田由香さんと山本桂さんが選出されました。

また、五月二十六日には姉妹都市宮城県岩沼市から同じような目的で組織されている岩沼市青年市民会議のメンバー約三十人が来訪。南国市青年市民会議とシンポジウムなどの交流を行い、意見交換をすることが予定されています。

岩沼市の市民会議は、市政に青年の声を反映させようと六十二年七月に発足。三十名(現在は二十九名)の委員で組織されています。現在までに市政の勉強や研

究を終え、この三月に市長に対して「第一回中間提言書」を提出しています。

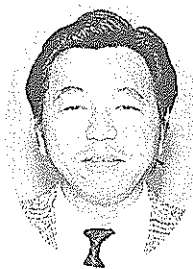
このような先輩青年市民会議を迎えるにあたり、南国市の市民会議もそれに対応できるように体制を何とか作り上げようと、第二回目の会で熱心に話し合いが行われ、シンポジウムに向けての取り組みを決めました。

委員の任期は二年間で、その間市政の勉強などを行い、市政についてテーマをしばって研究し、提言を行うことにしています。

自分たちの意見

を市政に

会長 末政隆一



集まったメンバーがほとんど意見を出し合い、自分たちなりのものを出していくようにしたい。われわれ若者の意見を市政に届けていく。いままで以上に市政に気込みを進めていきたい。